

<例1>

「不妊治療と仕事の両立支援」に向けた取組をすすめましょう

近年、働きながら不妊治療を受ける労働者は増加傾向にあります。不妊治療と仕事の両立ができずに退職する人は16%（女性では23%）に上がっています。退職していない場合であっても、通院回数の多さや、通院と仕事の日程調整の難しさなど、不妊治療と仕事の両立が困難な実態がみられます。

各企業におかれましては、不妊治療と仕事の両立について、職場における理解を促し、不妊治療と仕事の両立ができる休暇制度や両立支援制度が利用しやすい職場環境の整備に向けた積極的な取組をお願いいたします。

厚生労働省では、不妊治療と仕事の両立のための職場環境整備を進めるため、次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の取組事項に「不妊治療を受ける労働者に配慮した措置の実施」が追加されました。また、中小企業支援策として、不妊治療にかかる助成金を創設していますので、ぜひご利用ください。

【三重労働局ホームページ】

(<https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/home.html>)

トップページ > 各種法令・制度・手続き > 雇用環境・均等関係 > 法令・制度 > 不妊治療と仕事の両立のための職場環境の整備について

【お問合せ先】 三重労働局雇用環境・均等室 059-226-2318

<例2>

「不妊治療と仕事の両立支援」に向けた取組をすすめましょう

近年、働きながら不妊治療を受ける労働者は増加傾向にあります。不妊治療と仕事の両立ができずに退職する人は16%（女性では23%）に上がっています。退職していない場合であっても、通院回数の多さや、通院と仕事の日程調整の難しさなど、不妊治療と仕事の両立が困難な実態がみられます。

各企業におかれましては、不妊治療と仕事の両立について、職場における理解を促し、不妊治療と仕事の両立ができる休暇制度や両立支援制度が利用しやすい職場環境の整備に向けた積極的な取組をお願いいたします。

- 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画に「不妊治療と仕事の両立支援」に関して盛り込み、計画的に取組を進めましょう。
- 中小企業事業主に対する助成金があります。積極的にご活用ください。
 - ①働き方改革推進支援助成金（労働時間短縮・年休促進支援コース）…不妊治療に利用できる特別休暇制度（多目的・特定目的とも可）を導入した事業主を助成
 - ②両立支援等助成金（不妊治療両立支援コース）…不妊治療に利用できる休暇制度や両立支援制度（所定外労働の制限、時差出勤、短時間勤務、フレックスタイム制、テレワーク）を整備し、労働者に実際に利用させた事業主を助成
- 制度導入マニュアルなどをご活用ください（厚生労働省ホームページよりご覧いただけます）。
 - ◎「不妊治療を受けながら働き続けられる職場作りのためのマニュアル」
不妊治療についての解説や、不妊治療と仕事の両立支援制度の導入ステップ、各種制度や取組の解説、企業の事例の紹介など掲載しています。
 - ◎「不妊治療と仕事の両立サポートハンドブック」
不妊治療についての解説や、職場での配慮のポイント、不妊治療を受けている、受ける予定の人たちへの情報を掲載しています。

【厚生労働省ホームページ】

(<https://www.mhlw.go.jp/index.html>)

トップページから、①「不妊治療に関する取組」②「不妊治療と仕事の両立のために」で検索。②では、中小企業事業主対象の助成金や、「不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりのためのマニュアル」等をご紹介します。



①



②

【三重労働局ホームページ】

(<https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/home.html>)

トップページ > 各種法令・制度・手続き > 雇用環境・均等関係 > 法令・制度 > 不妊治療と仕事の両立のための職場環境の整備について

【お問合せ先】三重労働局雇用環境・均等室 059-226-2318